

# No. 1463

## 防 災 — 東 京・横 浜 —

9月1日は『防災の日』。横浜市内で六都県市合同防災訓練が行なわれました。首都圏3,000万人の防災をめざして陸、海、空による熱心な訓練が展開されました。今年は関東大震災から60年目。都内のデパートでの防災展も防災知識を得ようとする人達で一杯です。災害はいつ起るかわかりません。日頃から防災について気をつけたいものです。

### フラッシュ

- ① 社会党は5年9ヶ月続いた飛鳥田体制から石橋委員長へバトンタッチ。石橋・社会党で党の再生なるかどうか？
- ② 秋はファッションショーの季節。でも、これはちがいます。台風シーズンを迎えて、豪雨体験です。

## 伊 那

地元の歴史や民俗文化などを紹介している郷土誌『伊那』の編集長・原田島村さん92才。妻の貞さん78才。二人で郷土誌を発行してきて31年になる。『天竜下り』で名高い長野県・伊那地方。「郷土誌を発行することは、郷土を愛するという事と同じだ」という原田さん。今日も友人を連れて、あちこち訪ね歩く郷土巡礼。この31年間、一度も休まず出版された『伊那』は、当初350部でスタート。今では全国に愛読者を持ち5000部にのびた。これは、多くの関係者の努力もさることながら、妻、貞さんの力に負う所が大きい。貞さんは、この本の良さをわかってもらうため、伊那谷を歩き続けた。

伊那谷を隈なく歩くこの足に、痛みを覚ゆこの頃のわれ

貞さんの歌である。こうした二人の努力は町中知らぬ者はなく、原田さんは、この程、郷土誌を育ててきた活動が認められ、中日社会功労賞を受けた。次の編集長を引き受けてくれた息子を混えて、我が家でくつろぐ原田さん夫妻。

年老いてよき仕事をば許されて、身に余る幸を喜び合える